



CONTENTS

- ◆後援会会長あいさつ・・・・・・・・・・ 1
- ◆教育学部長あいさつ・・・・・・・・・・ 2
- ◆学部からのお知らせ・・・・・・・・・・ 3
- ◆学生の年間スケジュール紹介・・ 4
- ◆卒業生の声・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ◆後援会活動の概要・・・・・・・・・・10
- ◆後援会幹事名簿・・・・・・・・・・・・11
- ◆学生支援事業のお知らせ・・・・・・12



夢を叶える努力

後援会会長 栗山政和

島根大学教育学部後援会の皆様には、日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度、会長を務めさせて頂くことになりました栗山と申します。皆様のお力をお借りして、本後援会がますます発展するよう、誠意を持って取り組んで参りたいと考えております。ご指導ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、教育現場では、新しい学習指導要領が来年度から小学校、中学校、高等学校と順次実施されます。学生の皆さんには、このように日々変化していく教育現場で対応していく教師としてのスキルを磨いていくて欲しいと思います。

本後援会は、「島根大学教育学部の発展充実に寄与し、在学生の教育に関し、学部と協力すること」を目的に、昭和27年から今日に至るまで、学部長先生をはじめ、教育学部関係者の皆様、活動を支えてこられた各方面の諸先輩方のご尽力により、学生の皆さんが実り豊かな学生生活を送ることができるよう支援を続けることができいております。

主な事業として、全国の注目を集めております「1000時間体験学修」、「面接道場」、「教師力パワーアップセミナー」、「プロフィールシートシステム」などの学部教育活動の支援のほか、教育実習、就職活動、国際交流活動、教育環境整備などに係る支援を行っております。こうした支援も、教育学部の明確な目標と方針と相まって確実な成果として現れ、教員就職率の向上に繋がっております。「教師になりたい」という夢を持って入学した学生の皆さんは、それを叶えるべく様々な場面で努力をしていると思います。そのような努力している皆さんを後援会も応援していきます。

後援会の皆様には、後援会組織としての直接支援の他に、職場やお住まいの地域で、1000時間体験の学生を受け入れていただくなど、学生の皆さんが学外で活動する際にも積極的なご支援をお願いいたします。

今後とも皆様のご理解を賜り、ますます充実した後援会活動ができますよう、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



よりよい社会を創造する教師の育成

教育学部長 加藤 寿朗

令和元年(平成31年)度入学生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。また、教育学部後援会の皆様におかれましては、平素より本学部の教育・研究活動、ならびに就職支援活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

島根大学教育学部は全国に先駆けて、山陰地域で唯一の教員養成に特化した学部として平成16年に生まれ変わりました。鳥取大学の現在の地域学部との再編・統合を経て、島根県・鳥取県両県の教員養成を担う基幹学部としてスタートし、特色ある教育活動を行ってきました。文部科学省より公表された国立教員養成大学・学部の就職状況(平成29年3月卒業者)では、島根大学教育学部の教員就職率(66.9%)は全国10位(44大学中)という高い水準(全国平均は59.3%)でした。都市圏にくらべて教員採用数が限られた地域にあっても、全国の平均就職率に引けをとらない水準を維持してきたところです。これも、学生個々人の学修努力とともに、教育学部後援会の心強いご支援があつてのことと、あらためて感謝申し上げます。

一方、グローバル化、情報化など子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、子どもの成長を支える教育への期待は益々大きくなっています。これからの学校には、子どもたちの15年後、20年後のための教育や生涯学習の基盤となる教育が必要とされるでしょう。そして、現代的教育課題や地域の課題に対応し、よりよい教育を通して、よりよい社会を創り出していく教師が今、求められています。

本学部では、このような変化する社会に主体的に、そして創造的に対応する教師を育てるために、平成29年度に学部教育をリニューアルしました。先行的に取り組んできた特化型学部としてのカリキュラムの利点を生かしながら、次のような21世紀の教育を担う教師の育成を目指しています。

- ・ 学び続ける教師
- ・ 教育実践を省察する教師
- ・ 社会における未来を創造する教師

そのために、子どもや地域社会との関わりの中で学ぶ「1000時間体験学修」、教師への育ちを学生自らが診断し自己評価する「プロフィールシート」、様々な他者と語り合いながら教職をより深く理解する「教師力パワーアップセミナー」や「面接道場」など、独自の教育システムで教育現場に求められる教員に必要な「教師力」の育成に取り組んでいます。

後援会の皆様には、学内環境整備はもとより、1000時間体験学修に必要な旅費の援助、就職支援の一環としての教員採用試験対策用図書の整備や就職に関わる諸訪問のための交通費の助成、さらには教師力パワーアップセミナー・面接道場における面接員など、本学部の教育活動を様々な側面からご支援いただいています。

子どもや教育活動に強い関心を持ち、教師を目指す「夢」と「志」を持った学生を今後も教育学部の全教職員が一丸となって支援していく所存です。後援会の皆様には、益々のご支援・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

教育学部の専攻名称変更

教育学部では、専攻分野の名称に教員免許状の種類を反映させることで、本学部の教育課程の特色をより広く知っていただくことを意図して、令和2年度（2020年度）から、以下のとおり専攻名称を変更します。また、併せて、副専攻の名称も変更します。

なお、新しい専攻は令和2年度入学生から適用し、令和元年度以前の入学生（在学生）については変更前の専攻名称となります。

【現行専攻名】		【新専攻名】
初等教育開発専攻	→	小学校教育専攻
特別支援教育専攻	→	特別支援教育専攻 (変更なし)
言語教育専攻(国語教育コース)	→	国語科教育専攻
言語教育専攻(英語教育コース)	→	英語科教育専攻
共生社会教育専攻	→	社会科教育専攻
数理基礎教育専攻	→	数学科教育専攻
自然環境教育専攻	→	理科教育専攻
健康・スポーツ教育専攻	→	保健体育科教育専攻
音楽教育専攻	→	音楽科教育専攻
美術教育専攻	→	美術科教育専攻
【副専攻】		
家政教育副専攻	→	家庭科教育副専攻
技術教育副専攻	→	技術科教育副専攻

「心理学特別プログラム」の開設

教育学部では、令和2年度（2020年度）から「心理学特別プログラム」を開設します。このプログラムは、子どもや保護者を取り巻く社会環境やそれらの人々が呈する問題が複雑化・多様化する中で、教員が心理や福祉の専門スタッフと連携し学校の機能を強化することの重要性が提言されていることから、学校において子どもや保護者を特に心理学的観点から理解し、教育実践を通じて教育相談の機能を発揮できる教員を養成することを目的としています。

- 授業科目は、教育学部専門教育科目、プログラム開講科目のほか、他学部開講科目で構成されます。
- 履修については、主専攻・副専攻とは別に履修する必要があります。

主専攻



副専攻



心理学特別プログラム

- プログラム修了者には、修了証明書が交付されます。

1年 学生の年間スケジュール紹介

入門期セミナー

《入門期セミナー》

初年次教育プログラムの一つである1泊2日のセミナーです。1000時間体験学修プログラムを理解し、4年間の大学生生活の見通しを持つことを主な目的としています。4年間を共に過ごす仲間や学生スタッフの先輩との2日間の関わりを通し、幅広い人間関係を築くことができます。1年生にとって、大学生活への期待がふくらむ有意義なセミナーです。



教育学部で学ぶこと

1年前期に開講される、専門教育科目の基盤となる科目です。文献検索やレポート作成など、大学生としての基礎的なアカデミック・スキルを身につけるとともに、授業観察や授業協議など、教育学部生に必要な技術や知識を身につけます。また現代的な教育課題についての理解に基づいて、自らの進路に応じた履修モデルを構想します。

大学祭

松江キャンパスでは「凧風(しょうふう)祭」という名称で毎年10月に開催されています。



基礎体験交流会

1・2年生を対象とした基礎体験の意見交換会です。先輩や他専攻生の話を聞き、今後の各自の基礎体験活動の充実を図ります。

◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◎入学式・オリエンテーション											◎基礎体験交流会
◎入門期セミナー			◎地域理解セミナー				◎大学祭				
				◎専攻決定		◎スタートアップセミナー			◎介護等体験登録締切	◎介護等体験説明会	
		◎専攻決定ガイダンス									
		◎一般教養ちからだめし★教職志向性調査									
		◎学校教育実習Ⅰ									
		◎学校教育実践研究Ⅰ									
		◎基礎体験合同説明会									
		◎基礎体験活動開始									
						◎在学生ガイダンス					
						◎副専攻仮決定(年度末に決定)					
											◎副専攻決定

学校教育実習Ⅰ 教職志向・進路調査

学校教育実習Ⅰ(前期・20時間) 附属幼稚園・附属義務教育学校で5日間、午前中は授業観察を行い、午後は大学で観察のまとめと振り返りを行います。



学校教育実践研究Ⅰ

学校教育実習Ⅰと連動して水曜3コマに開講されるコア授業科目です。大学4年間の学びにおける教育実習の位置づけを理解するとともに、「教わる側」から「教える側」への視点の転換を図ります。また、学校教育実習の期間中には、自ら作成した授業(保育)記録に基づいて建設的な授業協議を行うための基礎的な技能を身につけます。

基礎体験活動開始 (1000時間体験学修プログラム)

必修の1000時間(基礎体験セミナー・介護等体験など)と選択の540時間の時間認定が必要です。選択の活動では、地域のイベントや社会教育施設の活動、小・中学校での学習支援など、多様な活動に参加できます。



地域理解セミナー

これから本格的に基礎体験活動始める1年生対象の基礎体験セミナーです。地域における学校現場以外での教育活動について理解を深めたり、基礎体験活動におけるルールやマナーについて確認したりして、安心して活動に取り組むことができるためのセミナーです。

スタートアップセミナー

入学時からの基礎体験活動の取組を振り返る基礎体験セミナーです。体験時間の確認、活動参加への心構えや手続きの再確認を行います。また、小グループに分かれて体験発表会などを行い、今後の活動をさらに充実させていくためのセミナーです。



学校教育実習Ⅱ

教育実習Ⅱ（通年・20時間）

附属学校園で行う教科指導を中心とした観察実習です。主専攻に対応する校種・教科の授業参観・授業協議を行い、ポートフォリオを作成するとともに模擬授業演習等を行うことによって授業設計の基礎を培います。3年生で行う実習Ⅲを履修するためには、2年生終了時まで別途定められた履修資格を満たしている必要があります。

充実期セミナー

2年生を対象に開催される基礎体験セミナーです。各自の取組の傾向をもとにしたグループでの活動を通して成果や課題を明らかにすることを目的としています。また、学内資格を取得している先輩からのアドバイスを受けることもできます。



教師力パワーアップセミナー

教師力パワーアップセミナーは教員採用試験への対策や教職をより深く理解するための取組です。2月末の「宿泊研修」には2年生から参加できます。教員採用試験の合格者や現任教員である先輩との交流会もあります。



◎ 学部(大学)行事等 ★ Web入力(必須)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◎在学ガイダンス ◎健康診断 ◎介護等体験事前指導 ★教職志向性調査					◎充実期セミナー			◎教員採用試験合格者体験報告会			◎基礎体験交流会 ◎教師力パワーアップセミナー
					◎プロフィールシート(PS)作成説明会 ◎PS返却 ★PS入力 ★PSまとめ ★教職志向性調査						
					◎在学ガイダンス		◎C系・G系				
		◎学校教育実習Ⅱ									◎ポートフォリオ提出締切
		◎介護等体験									

介護等体験

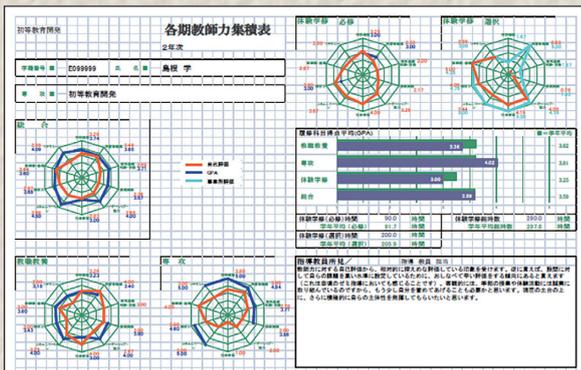
特別支援学校及び社会福祉施設（老人ホーム等）で、あわせて7日間の体験を行います。

〈内訳〉

- 鳥根県又は鳥根県内の特別支援学校での体験（2日間）
（例）授業の補助、学校行事等校務全般にわたる補助等の体験等
- 鳥根県内の社会福祉施設（老人ホーム等）での体験（5日間）
（例）介護・介助、障がい者等の話し相手や散歩の付添い等の交流の体験、掃除や洗濯等受入れ施設の職員に必要とされる業務補助等の体験等

C系・G系

学校教育体験領域における実習で、1000時間体験学修の体験時間としてカウントされます。2年生の後期と3年生の前期に開講され、半期毎にどちらかを受講することになります。C系は個人（子ども・保護者）に対する支援（Counseling）を想定した実習で、相談場面のロールプレイを通して、よりよい聴き方や相手の気持ちに添う関わり方について学びます。G系は学級集団形成など集団における支援（Group approach）を想定した実習で、自分や相手の特性に関する気づきを促すグループ活動を通じて、よりよい学級集団づくりの技能を学びます。



プロフィールシート

プロフィールシート

大学での学びの状況は、履修単位の成績評価だけで計ることのできない広がりをもっています。プロフィールシートは、そのような学生一人ひとりの学びの成果と軌跡を記録する「カルテ」です。プロフィールシートの作成は、4年間で3回、大学生活の節目の場面でを行います。その目的は、教師に必要な能力の総体である「教師力」の修得状況を、複数の評価視点（自己評価、他者評価、客観的評価）によって可視化し、学びの状況とこれからの目標を確認することにあります。

3年 学生の年間スケジュール紹介

学校教育実践研究Ⅱ

学校教育実習Ⅲ・Ⅳと連動して開講されるコア授業科目です。主専攻に対応する校種・教科の授業実践に焦点化し、授業分析や教材研究、学習者理解を基本とした教材制作のトレーニング、学習指導案作成と模擬授業を行います。また事後指導では、自らの実習を深化・発展させるためのふりかえりを行います。

スクール・インターンシップ

3年生の後期は実習セメスターとなっています。この期間に教育実習Ⅳ・Ⅴを行います。実習を行わない期間を活用して特別に用意されたスクール・インターンシップを行います。公立小中学校を中心に教育体験に行くことができ、教育実習とこの学外教育体験を往還させることによって、より幅広い教師力を身につけることが期待できます。

学校教育実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

●学校教育実習Ⅲ（前期・40時間・1単位）

主専攻に対応した教育実習です。附属学校の授業観察を通して、授業を「教師と学習者のコミュニケーションの総体」として把握し、学校教育実習Ⅳに必要な授業実践力の基礎を培います。

●学校教育実習Ⅳ（後期・120時間・4単位）

主専攻に対応し、授業実践に軸を置いた教育実習です。教科指導をはじめ、学習集団の形成や学級経営に係る実践的トレーニングを行い、教職へのより深い理解と基礎的な実践力の育成を図ります。

●学校教育実習Ⅴ（後期・40時間・1単位）

副専攻の校種・教科に対応した観察実習主体の教育実習です。学齢期にある子どもの「成長」、「発達」をより長いスパンから捉え、子ども理解を深めます。

◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実習	◎学校教育実践研究Ⅱ						◎スクール・インターンシップ					
		◎学校教育実習Ⅲ				◎学校教育実習Ⅳ			◎学校教育実習Ⅴ			
講義・その他	◎在学生ガイダンス ◎健康診断					◎在学生ガイダンス			◎面接道場			
	★教職志向性調査								◎プロフィールシート(PS)作成説明会 ★PS入力 ◎PS返却			
	◎C系・G系								◎応用期セミナー ★PSまとめ			
									◎教員採用試験スタートガイダンス			
									★教職志性調査			
											◎教師力パワーアップセミナー	

面接道場

外部の目を通して、教育学部学生に対する期待や要望を学ぶ機会が特別に設けられています。それが「面接道場」です。人生の達人である学部評価委員の方々が、面接を通して社会人としての基本的な資質を伝授して下さいます。



応用期セミナー

3年生対象の基礎体験セミナーです。スクール・インターンシップ及び教育実習での活動を振り返り、今後の大学生活を展望するとともに、進路決定に向けての自己啓発を促す時間とします。学外体験活動や教育実習での学びの発表会や進路希望別グループでの協議を行います。



教師力パワーアップセミナー

教師力パワーアップセミナーは教員採用試験への対策や教職をより深く理解するための取り組みです。2月末の「宿泊研修」に始まり、教員採用試験の面接対策や卒業後の教員生活ですぐに必要なスキルを研修します。教員採用試験合格者や現任教員である先輩との交流会もあり、不安や悩みを解決できるセミナーです。



学校教育実習VI 幼稚園実習

学校教育実習VI(前期・40時間・1単位) [選択]
幼稚園実習(通年・80時間・2単位) [選択]

それぞれの教職志向に対応し、主体的に選択する学校教育実習科目です。取得したい免許状に基づき、学校教育実習VI、幼稚園実習のいずれかを選択します。

発展期セミナー

4年生対象の基礎体験セミナーです。4年間の大学生活で、自ら選択して取り組んできた基礎体験活動について振り返ります。基礎体験活動の成果や、自己の在り方への影響度などを協議することを通して、自分自身の学修の総括を行います。



学生教育情報

これらの情報は、同学年や全国の動向などをふまえ、みなさんの就職支援を行う上で有益な情報となります。たとえば、あなたの現在の履修状況と進路希望とのより良い組み合わせが発見されるかもしれません。また、教員採用試験を受験する予定の県の情報をブログシステムで把握したり、就職を希望する県教委から依頼があった際に、素早く連絡を受けて就職につなげることもできます。

◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須) ■教員採用試験関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卒業研究	◎題目提出締切り(指導教員に提出)						◎口頭試問 ◎卒業演奏試験(音) ◎卒業論文提出 ◎卒業作品提出(美)					
教員採用試験	■願書提出 ◎教師力パワーアップセミナー ◎願書添削セミナー ◎マナーアップセミナー		■一次試験 ◎合格発表		■二次試験 ◎講師登録 ◎合格発表		■各教育委員会による合格者研修		■勤務校決定 ■講師採用の連絡			
その他	◎学校教育実習VI		◎発展期セミナー		◎教育職員免許状申請手続		◎卒業式 [PS返却] ◎進路状況調査					
	◎在学ガイダンス ◎健康診断 ◎進路希望調査		◎プロファイルシート(PS)作成説明会 ◎PS入力		◎教職実践演習		◎PSまとめ入力		◎1000時間体験学修時間認定締切り			
	◎大学院出願(I期) ◎大学院入試(I期)		◎大学院出願(II期) ◎大学院入試(II期)		◎大学院出願(II期)		◎大学院入試(II期)					
★教員採用試験・就職活動で変化がある度に就職支援室に報告する。												

◎教員採用試験 先輩からのアドバイス◎

- ◆受験する都道府県を早めに決め、出題傾向を分析
- ◆試験問題にはヤマをはずすに、分析結果をまんべんなく
- ◆二次対策(面接、実技など)も早めに
- ◆提出物は早めに作成、必ずコピー、早めに提出、必ず誰かに読んでもらう
- ◆問題集・参考書はあれこれ手を付けても意味がない、同じものを何回も
- ◆先輩のアドバイス、体験談は何よりも貴重
- ◆自分の試験勉強のリズムを早く見つける(息抜きの時間も必要)
- ◆友達の良いところはどんどん真似して取り入れる(仲間は大切)

未来教師塾

教員採用試験対策

〈教師力パワーアップセミナー〉

- ◎主に面接(集団・個人)、集団討論の練習をします。
- ◎教育学部の教員や学外の教育関係に携わっている方が面接官をさせていただきます。ここでのアドバイスはとても重要です。

〈就職支援室〉

- ◎証明写真の試し撮り、面接の様子を撮影してくれるサービスを開始
- ◎各都道府県の教員採用試験動向情報を提供
- ◎その他の就職相談

〈その他〉

- ◎教員採用試験受験テキストブックをチェックする
- ◎各種セミナーに積極的に参加する。
- ◎学部情報ブログをチェックする。(教員採用試験情報が日々更新)



卒業生の声

やってみよう

初等教育開発専攻 谷口 沙樹



高校3年生の夏、将来小学校の教員を目指していた私は、島根大学教育学部のオープンキャンパスに参加しました。そこで教育実習の機会が多くあること、1000時間体験活動があることを知り、他にはない魅力を感じ、受験することを決めました。今思えば、あの時の決断は大正解でした。大学の4年間は人生で一番濃い4年間であり、たくさんの人との出会いや学び・体験の機会からたくさんの刺激を受け、それまでの自分にはなかった考え方やものの見方を得ることができました。そして、自分を成長させることができました。

島根大学教育学部には、教員になるために必要な資質や能力を鍛えるためのカリキュラムや実践の機会、体験的に学ぶ機会が豊富にあります。頭で考えたり受け身的に学んだりするだけでなく、たくさんの教育現場を知り、実際に子どもと関わり、自分で動くことで得られる学び、新しい気づきがたくさんありました。また、教員採用試験に向けた対策を行う機会も豊富にあります。多くの先生方が手厚く指導してくださり、鍛えてくださいました。

大学4年間の学びの質は、自分から動くか動かないかで大きく変わることを強く感じています。経験をたくさん積み、失敗したり悩んだりすることも含め、すべてが自分の糧になり、必ず将来に生かされると思います。これらの機会をモノにするかしないかは、100%自分次第です。ぜひ、「まずやってみる」という気持ちを大切に、いろいろなことに挑戦してください。そしてなにより、「島根大学に来て良かった」と思えるように大学生活を大切に過ごしてほしいと思います。

この春からは、鳥取県で小学校の教員として働きます。たくさんの壁が立ちはだかると思いますが、4年間で得た学び、たくさんの方から指導していただいたことを十分に生かし、充実した教員生活を送っていきたいです。

人とのつながりを大切に

言語教育専攻（英語教育コース）福田 恭汰



4年間の大学生活を振り返ってみると、勉学と部活動の2本柱で成り立っていました。勉学では、専門教科の知識はもちろんのこと、教員になる上で必要不可欠な知識も講義を通して、学ぶことができました。部活動では、男子バレーボール部に所属し、4年間継続して活動しました。仲間とともに切磋琢磨し合いながら活動したことはこれからの人生において糧になると思います。そして、大学の同期、先輩、後輩、先生方はもちろん、1000時間体験学修先の子もたち、学校現場で働かれている先生方などたくさんの人との出会いが自分を成長させてくれたと思っています。

その中の島根大学教育学部の魅力は知識をインプットするだけでなく、インプットした知識をアウトプットする機会が充実しているところだと思います。それは1000時間体験学修です。実際の学校現場、社会教育施設などで体験し、たくさんの人との関わりの中で学びを深めることができます。1000時間体験学修での経験は今後の人生において大きな意味を持つと思います。この1000時間体験学修を上手くに活用し、充実した4年間を過ごしてみてください。

新入生のみなさん、大学生活は勉学、部活動、サークルやアルバイト、1000時間体験学修など様々な経験を積むことができます。人とのつながりを大切にしながら、みなさんにしかできない素敵な4年間を過ごしてほしいと思います。

来年度からは、鳥取県の中学校で英語教員として教壇に立ちます。楽しみなこと、不安なことたくさんありますが、島根大学での学びを活かし、さらに成長していきます。たくさんの人との出会いを大切にしながら、自分にしかできない教員生活を送っていきたいです。

逆境で咲く花

自然環境教育専攻 増村 元希



自分はいったい何がしたいのだろうか？そんなどうしようもない虚無感を日々抱え、足掻き続けた4年間でした。教育学部に入った理由も、教員になりたい気持ちはそこまで強いわけではなく、簡潔にいうと「何となく」が一番ふさわしい言葉だと思います。しかし、そんな意識で入学した自分でも、大学の授業や人との関わりの中で、教員になるための能力だけでなく、社会にでて役に立つ能力を習得することができました。

島根大学は1回生から教育実習がスタートし、すべてが初めてのことなので不安や悩みはありました。しかし、実習は一人ではなくグループで行うため、苦しみをわかちあい、乗り越えたあとにはグループで打ち上げをしたりして、達成感を味わうことができました。今思うと楽しかった思い出です。そして、大学生活において必ず付きまとうのがレポートです。時には深夜まで友達と大学に残ってレポートを作成した日もありました。集中力が切れた時は、みんなでジェンガをして負けた人がジュースを奢るなど、現実逃避を幾度も繰り返しながら困難を乗り越えたのも貴重な経験です。

新入生の皆さんには、とにかく何事も楽しんでほしいと思っています。新しい環境で不安も大きいと思いますが、まずは目の前の課題に全力に取り組み、全力で楽しんでください。そうすることで、自然と能力が身に付き、自分のしたいことも明確になっていきます。島根大学のカリキュラムは体験的なものが多く、取り組めば取り組むだけ、成長していく自分を実感することができました。皆さんもまずはやってみることを大切にし、そこから学びを広げていってください。

この春から岡山県の中学校で理科の教員として働きます。近頃は様々な教育問題が飛び交っていますが、教育者としての責任感と、学び続ける気持ちを大切にして、教員生活を送っていきたいです。

ひととの縁

人間生活環境教育(家庭科)専攻 恩田 岬



あっという間に過ぎた4年間をよくよく振り返ると、私にとって周囲の人の存在はとても大きく、本当に“ひと”に恵まれていたなと思います。“ひと”と言っても幅広いですが、まずは“地域のひと”です。地域活性化にも興味をもっていたことから、中山間地域でのフィールドワークや地域の特産品を使用したレシピ開発等に参加し、地域のひととの関わりを持ちました。そこでは、自分たちの地域を盛り上げようという強い思いに触れ、地域から見た学校・子どもとのつながりという視点も経験することができました。この経験から、郷土を愛する子どもを育てたいという今後の目標ができました。次に“先生方”です。島根大学は先生方との距離が近く、雑談から真剣な悩み相談までたくさん話を聞いていただきました。自分を高めたいときは全力で付き合ってください、余裕がなくなっている時は優しく話を聞いてくださる、そんな頼もしく心地よい存在でした。さらに“仲間”です。大学生活の中で、教育実習や教員採用試験など同じ目標に向かっていく仲間がたくさんいて、大変心強かったです。時には意見がぶつかることもありましたが、試行錯誤してお互いを高め合えたことで、以前よりもはるかに多様性を認められるようになりました。このような“ひと”たちに囲まれていたからこそ、充実した大学生活にすることができました。

来年度からは島根県で小学校教諭として働きます。大学生活はもちろん、それ以前の生活でも多くの“ひと”から様々なものを与えてもらい、今の私がいます。これからは、周囲の“ひと”に何かを返していけるように、自分の置かれた状況を楽しみながら自分を高めていきます。そして、「出会えてよかった」と思ってもらえるような“ひと”になりたいです。

後援会活動の概要

令和元年度

1. 学生教育活動の支援

- ①1000時間体験学修、面接道場、教師力パワーアップセミナーなど学生教育活動事業経費への助成
- ②学生の体験活動等の交通費補助（全学年）
- ③学生の学会発表等の交通費補助
- ④ICTルーム等の環境整備への助成



基礎体験活動
（1000時間体験学修）



面接道場

2. 教育実習の支援

- ①教育実習を充実させるため、各実習受入校の実習経費への助成（学生が実習で使用する文房具や教材等への助成）
- ②教育実習ワークシート作成への助成



教育実習

3. 就職活動の支援

- ①教員志望学生の援助
教員採用試験に向けての対策と指導に関する経費への助成
- ②教員採用試験受験テキストブック作成に関する経費への助成
- ③就職支援室の書籍整備等への助成
- ④企業志望学生の支援
就職ガイダンスを開催し、企業就職関連の各種セミナー等を行なう経費の助成
- ⑤4年生の就職活動の交通費補助
- ⑥教員採用試験の模擬試験の受験料補助

4. 国際交流活動の支援

釜山教育大学校（韓国）との交流事業等への助成、テキサス大学、ミシガン大学学生との交流活動への助成

5. 教育環境整備の支援

構内の教育環境の改善を図り、学生の生活環境の向上及び充実のための施設整備経費への助成（トイレ内整備、玄関の花壇整備など）



正面入口前広場の花や観葉樹

6. 広報事業の実施

後援会事業活動報告及び学部の教育・研究活動並びに学生生活の様子等をお知らせするための後援会「機関誌」を発行

7. 課外活動の支援

在学中における各種部活動、大学祭、寮祭、中四国大学学生競技大会参加等の活動費への助成

令和元年度

教育学部後援会幹事名簿

地区	氏名	在学年	学生氏名	役職
松江市	井上尊雄	4年	井上真美加	
松江市	門脇健次	4年	門脇壮太郎	副会長
松江市	栗山政和	4年	栗山和暉	会長
松江市	須山誠司	4年	須山晴貴	
松江市	伊豫宣行	3年	伊豫月野	
飯石郡	高橋克裕	3年	高橋陽向	副会長
松江市	原俊行	3年	原尚樹	
米子市	山田二郎	3年	山田真太郎	監事
境港市	高濱禎彦	2年	高濱広海	
西伯郡	中嶋盛浩	2年	中嶋盛一	監事
出雲市	別所祐司	2年	別所郁実	
松江市	松嶋博	2年	松嶋文子	会計幹事
松江市	門脇晃一	1年	門脇陸	
出雲市	黒目久美子	1年	黒目尚志	
出雲市	園山薫	1年	園山実沙季	
出雲市	長崎康弘	1年	長崎耕作	

(順不同)

学生支援事業のお知らせ

教育学部後援会

2019年度の後援会学生支援事業として、下記のとおり実施します。
会員学生（保護者が後援会会員である学生）への補助となりますが、会員学生の方は遠慮なく申請してください。また、未入会の場合は、期限なく受け付けていますので、ぜひご入会ください。

全学年・院生対象

◆介護等体験、1000時間体験（基礎体験活動等）、実習semesterでの学校体験活動、実習等に伴う交通費を補助します。

【5,000円まで（年間）（松江市内でも補助）】

3・4年生、院生対象

◆教員採用試験模擬試験の受験料を補助します。

【5,000円まで】（生協等で実施している模擬試験を対象）

◆就職活動（教員等採用試験の受験を含む。）の交通費を補助します。

【10,000円まで】

全学年・院生対象

◆学会発表等の交通費を補助します。

【10,000円まで】

○問合せ・申請先：教育学部事務スタッフルーム（165室）後援会担当
電話 32-6251（内線3521）
E-mail：edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp

○発行 島根大学教育学部後援会
E-mail edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp
ホームページURL <https://www.edu.shimane-u.ac.jp/edu/koenkai.html>

○発行日 令和元年7月1日

○発行所 島根大学教育学部内 教育学部後援会事務局

○所在地 〒690-8504 松江市西川津町1060
TEL (0852-32-6251)
FAX (0852-32-6259)

○印刷 明和印刷有限会社